



地域のマメ情報 No.1



文：大嶋英貴

「高ヶ坂」名の由来編

高ヶ坂は、「こうがさか」または「こがさか」と言われてきました。私は、「こうがさか」になじんでいましたが、2014年の住所整理時に「こがさか」が正式な読み方とされました。

「高ヶ坂」は「名前の起りを詳にせず（新編武蔵風土記稿）」とあり、江戸時代には名前の由来が判らなくなっていたとのことです。よって、現在に伝わる説を紹介します。

①漢字由來說（地元で伝わる）・・・「高ヶ坂」という文字から高い坂、すなわち急な坂の意と捉え、原町田に向かう三塚など、急で高い坂道であったため。

②地形説・・・「こうが」の意味として、石ころが多くて水田にも畑にも適さない短い草が生えた芝地のこと。また、このような空閑荒蕪地を開墾した坂地であったため。

このことより、いつしか「高ヶ坂」と呼びならわされるようになったとのことです。

地域の歴史は縄文時代から確認されています。

この記事を機会に、生活されている地域の

歴史を調べてみてはいかがでしょうか。

（参考文献：町田地方史研究会 町田の地名）



ローカル線ちょこっと囃 No.3



文：中村 清史

飯田線 豊橋～辰野《日本最強の秘境線》 天竜峡温泉 長野県飯田

青い山脈を車窓越しに見ながら、天竜川沿いを走るローカル線東海道本線の豊橋と、中央本線の辰野を結ぶ飯田線は、全長約195,7Km。駅間がとても短い(わずか600mのところも)、駅の数94駅。普通列車で約6時間(かなりのロングラン)。もとは4社の私鉄が経営していた路線。

昭和18年、国営化により飯田線として統合されました。

飯田市はリニア中央新幹線の駅が出来る予定。

「蛸の町」辰野駅から天竜川に沿って豊橋方面に向かうと、中央アルプス(木曾山脈)を右手に見ながら、伊那谷を走ると山は形を変え、新たな峰が次々と現れる。伊那福岡駅を過ぎ、中田切川を渡る鉄橋付近からの眺めが、とりわけ素晴らしい。

駒ヶ岳(2956m)が雄々しい姿を車窓いっぱいに見せてくれる。長野県南部には、木曾、伊那、二つの谷が、木曾山脈を挟んで横たわり、旅人の往来を阻む木曾谷とは対照的に伊那谷は光が溢れる明るい印象を感じます。



高ヶ坂・成瀬地区協議会について詳しく掲載しています。
町田市のHP、高ヶ坂・成瀬地区協議会HPをご覧ください。



町田市HP



高ヶ坂・成瀬
地区協議会HP



高ヶ坂・成瀬地区協議会 NEWS

Kogasaka Naruse District Council

～歴史と未来の街～

Vol. 21 2025年12月

発行 高ヶ坂・成瀬地区協議会

代表 木下 賢治

木下代表挨拶

今年も10月18日、19日に成瀬コミュニティセンターまつりが行われました。グラウンドは子どもクラブ建設中で半分以下のスペースしかなく、例年行われていたサッカーのイベントなどは出来ませんでしたが大変沢山の方にご来場いただきました。まつり実行委員長として心より感謝を申し上げたいと思います。

ホールでの演奏、パフォーマンスは地域の文化活動の発表の場として、とても輝いた姿を沢山拝見し、エネルギーをいただきました。展示部門もとても充実しており、普段からの活動の成果が身を結んでいたと感じました。グラウンドでの出店はお祭りを盛り上げ、子どもたちをワクワクさせたのではないかと思います。地域の子どもたちに描いていただいた沢山の絵からは、成瀬の明るい未来を想像する事が出来ました。

そして、祭りの運営をお手伝いいただいた高ヶ坂・成瀬地域のスタッフの皆さま、本当にありがとうございました！スタッフの方々のご協力がなければ祭りは決して成り立たません。また、南成瀬中学校、成瀬高校の生徒さんによるボランティアにも大変助けられました。若い力が加わることは必要不可欠だと改めて感じています。

来年は子どもクラブがオープンした中での「おまつり」になります。まだ、全く未知数ですが新たな展開も期待されます。地域の皆さまに喜ばれ、愛されるまつりに出来るよう実行委員会、地区協議会ともに手を携えて準備をしていきたいと思っています。

児童クラブ工事中の壁面を利用し小中学生に「子どもにやさしいまち」を描いてもらいました。



お茶会



市役所
地区
覧

 高ヶ坂・成瀬地区協議会
Kogasaka Naruse District Council



A photograph of an outdoor terrace with wooden decking, green umbrellas, and a white railing, overlooking a cityscape.